

多能工型研究支援人材育成コンソーシアム 入会要項

平成30年11月20日

多能工型研究支援人材育成コンソーシアム運営協議会

(コンソーシアム事務局)

〒376-0027 群馬県桐生市天神町1-5-1

国立大学法人群馬大学研究・産学連携推進機構研究支援人材育成コンソーシアム室

TEL : 0277-30-1100 FAX : 0277-30-1192

Mail : kenshien@ml.gunma-u.ac.jp

目次

1. コンソーシアムの目的
2. 事業内容
3. 組織と運営
4. 会員の種類及び会費等
5. 会費等の払い込み方法
6. 入会手続き、受講申し込み方法と受講形態
7. 教育プログラムの運営方法
8. 教育プログラムの有効性の評価

【付録】

- ・ 研究支援人材育成コンソーシアム入会申込書

1. コンソーシアムの目的

本コンソーシアムは、大学、高等専門学校、大学共同利用機関、独立行政法人、地方独立行政法人、特殊法人その他公的な研究機関（以下「大学等」という。）において研究活動を支援する者、セクターを問わず産学官連携活動に従事する者（以下「研究支援人材等」という。）の育成を通して、大学等における研究活動の活性化及び豊かで個性と活力に富んだ社会の構築に寄与することを目的としています。

2. 事業内容

本コンソーシアムでは、研究支援人材等の育成のための教育プログラムの実施を中心に事業を展開しています。この教育プログラムは、平成 26 年度に文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」に、「地域特性を活用した『多能工型』研究支援人材養成拠点」が採択され、4 年間改良を重ねながら実施してきたプログラムであり、のべ 23 大学・研究機関 180 名以上の URA 等が受講してきました。

URA 等の業務の中のプレアワード、特に産学官連携に関わる研究支援人材等の実務能力を向上させる“日本で唯一無二の体系的且つエビデンスのある教育プログラムとこれに基づく評価システム”を構築しえたと考えています。

本コンソーシアムでは、主に以下の活動を実施しています。

- (1) 会員に対する研究支援人材等の育成のための教育プログラムの企画及び実施
- (2) 本事業に関する啓発・普及活動
- (3) その他本コンソーシアムの目的を達成するために必要な事業

3. 組織と運営

事業の実施・運営を目的とした「運営協議会」、教育プログラムへ参加する研究支援人材等の評価を行う「研究支援人材等評価委員会」及び参加会員で行う「総会」を設置しています。

運営協議会は、主査、副主査及びその他主査が必要と認めた者で構成しています。

運営協議会主査及び副主査は、当面の間、文部科学省「科学技術人材育成コンソーシアムの構築事業 地域特性を活用した『多能工型』研究支援人材養成拠点」の事業実施大学である群馬大学、宇都宮大学及び茨城大学の担当理事が務めています。

研究支援人材等評価委員会は、運営協議会の副主査及び上記 3 大学の教職員等で構成しています。

総会は、参加会員に対して事業計画や事業報告を行うことを目的に、毎年 1 回、毎事業年度の終了後に開催しています。

4. 会員の種類及び会費等

会員は、「団体会員」、「個人会員」及び「賛助会員」の 3 種類です。

#	種 類	内 容	会費*	教育プログラムの受講
1	団体会員	本コンソーシアムが実施する教育プログラム等への研究支援人材等の参加を目的する団体	20万円	可能** (人数制限なし)
2	個人会員	本コンソーシアムが実施する教育プログラム等の参加を目的する個人	5千円	可能**
3	賛助会員	本コンソーシアムの目的に賛同し、これを賛助するために入会した個人又は団体	5万円／口 (口数制限なし)	不可

*) 事業年度の下半期（10月1日～翌年3月31日）に入会した場合は、上記それぞれの会費の額の半額とします。

**) 団体会員に所属する受講者は、教育プログラムの受講料は無料です。個人会員は、受講時に受講料が必要となります。

【参考：教育プログラムの受講料の目安】

詳細な受講料は、「教育プログラムの募集案内」を参照してください。

	教育プログラム	団体会員	個人会員	備考
1	座学講座 (1講座あたり)	会費に含む	1万5千円(講義*) 5千円(テスト)	テキスト代含む *) 講義内のテスト代含む
2	実習講座 (1回あたり)	会費に含む	3万円	テキスト代、事後課題の評価 費用含む

5. 会費等の払い込み方法

会員は、毎年4月末日までに、下記へ会費又は受講料をお振込み願います。振込手数料は貴会員にて御負担願います。振込確認後、入会証を発送させていただきます。

振 込 先	東和銀行 前橋北支店
口 座	普通 3431589
フリガナ	コンソーシアムジムキョク
口座名義	コンソーシアム事務局

6. 入会手続き、受講申込み方法と受講形態

6. 1. コンソーシアムへの入会／退会手続き

- (1) 入会は随時可能です。下記の手続きに従って申込みをしてください。
- ①「多能工型研究支援人材育成コンソーシアム入会申込書」(p.8以降)をコンソーシアム事務局に送付してください。
 - ②「運営協議会」で入会の可否を決定します。
 - ③事務局から可否を通知
- 入会を認める場合は「入会証」、入会を認めない場合は、理由を付した書面にて当該団体もしくは本人にその旨を通知いたします。
- (2) 退会は随時可能です。退会届(様式自由)を事務局に提出してください。
- すでに教育プログラムの申込が完了している場合でも、退会後に教育プログラムを受講することはできませんので注意してください。

6. 2. 教育プログラムの受講申込み

- ・詳細は3月頃に送付する「教育プログラムの募集案内」を参照していただき申込みしてください。
- ・随時可能です。教育プログラム実施の2ヶ月前に、団体会員の窓口宛又は個人会員宛にメールにて募集案内を連絡いたしますので、同実施の1ヶ月前までに申込みしてください。

6. 3. 教育プログラムの受講形態

- ・詳細は3月頃に送付する「教育プログラムの募集案内」を参照してください。
- (1) 座学講座は1講座から受講可能です(基盤スキル*(以下「スキル」という。)単位での受講を推奨します)。
- (2) 座学講座の筆記テストは、テストに対応した講座の受講が必要です。
- (3) 実習講座は、スキル単位での受講となります(回数は該当スキルにより異なります)。

(*) 基盤スキル

教育プログラムは研究支援人材等に必要な6つの基盤スキル(下表)の涵養を中心に構成しています。基盤スキルを1つの単位として意識しながら、受講することを推奨します。

	基盤スキル	講座の種類
1	知財管理と契約	座学
2	コンプライアンスとリスク管理	座学
3	ファンド申請に関わる業務遂行能力	座学・実習
4	企業活動・企業の研究開発活動の理解能力	座学・実習

5	プロジェクト企画立案能力・プロジェクト関係者の調整能力	座学・実習
6	研究活動の把握能力	実習

6. 4. 受講証明書

- ・詳細は3月頃に送付する「教育プログラムの募集案内」を参照してください。
- (1) 受講証明書は、6つのスキルごとに発行します。
- (2) 座学講座のみのスキルでは、当該スキルの全ての座学講座の受講とそれらの講座に対応した筆記テストに合格した場合に発行します。
- (3) 座学講座と実習講座のあるスキルでは、当該スキルの全ての座学講座、1年分の実習講座を受講し、実習講座の課題において合格した場合に発行します（課題が複数回ある場合は、1回でも合格すれば発行の対象となります）。
- (4) 実習講座のみの場合は、1年分の実習講座の受講と課題（「プロジェクト企画立案能力・プロジェクト関係者の調整能力」では力量評価）において合格した場合に発行します（課題が複数回ある場合は、1回でも合格すれば対象となります）。
- (5) 単年度で条件を満たさなくても複数年度で条件を満たした場合、発行の対象となります。
- (6) 合格した講座の再受講は、会員資格を満たしていれば御希望に応じます。

7. 教育プログラムの運営方法

- ・教育プログラムは、本コンソーシアムの運営協議会が主体となって実施します。

8. 教育プログラムの有効性の評価

- ・経験豊かな専門家を講師としています。
- ・受講者にアンケートを実施し、講座内容の評価を行います。
- ・アンケート等を参考にして、運営協議会（研究支援人材等評価委員会）で、教育プログラム

ラムの有効性を評価し、翌年度のプログラムにフィードバックします。

